



右/ 玄関ボーナ 内玄関部分を含めると空間の広々とした開口。
左/ 玄関から延べ段のアプローチを振り返る。



外観 この地方の伝統的な特徴は受け継ぎつつ、向き方により適した位置に移動して基礎工事を再生した。アプローチには御影石の延べ段が続く。大屋根の開口を広げ、ゆったりとした外観に。外壁は漆喰塗りとし、杉ささら下見張りの組み合わせ。



玄関 ゆったりとした中にも格式が感じられる空間。玄関床は大判の御影石。上部は吹抜けとなっている。

次の百年へ繋げる 愛着のある民家の再生

施工：(有)丹保建設 設計：(有)金沢設計

思い出や文化的特徴を受け継ぎ
機能面も過不足なく充実

N様の家は江戸時代から続く旧家で、最近市街化が進む金沢市北部の田圃地帯に点在する集落にある。

この家は百年以上も経つ古民家である。元は茅葺屋根だったと推測される。長い間に度重なる増改築が行われ、玄関土間及び広間（オイ）に多少の面影を残すものの当初の姿は大きく変えられていた。数年前から空き家の状態で老朽化が進み住みづらくなっていたが、御家族は歴史や思い出の刻まれたこの家を何とか蘇らせたいたいと強く思われていた。

その後、インターネットで弊社を知ることになり、メールで古民家再生についての考えを数年間やりとりする時期を経てじっくりと設計に入り、次の百年へ繋げるという思いで出会いから竣工まで実に5年の歳月がかかった。そして御当主夫婦と、故郷に戻り家業を継がれる予定である若夫婦の二世帯住宅となり、次の世代へと受け継がれる家に生まれ変わった。

屋敷構えは、母屋は御当主夫婦の居宅、米蔵は若夫婦の居宅、納屋は車庫に再生して、曳き方によりそれぞれに適した位置に移動して基礎工事から行い、奥にある2棟の道具蔵はそのまま修理した。間取りは当初からは大きく変わったが、御当主の思い出やこの地方の文化的な特徴は受け継ぎ、ゆったりとした外観にするため大屋根の開口を元の三間から五間に広げるなど平成の大修理にふさわしい再生となるように心がけた。古民家の修理では難しいとされる機能面、明るさ、気密断熱も充実させ、快適な環境を実現し今の時代に即したものとした。

全国の古民家は時代の急激な変化に取り残されつつある。深い愛情と長い時間の蓄積で育まれた古民家であるN家が、今後も幾代にもわたって受け継がれていくことを切に願っている。

(赤坂政)



広間 畳敷きの吹抜け空間に囲炉裏を置いた広間、玄関に直結し、座敷とリビングに隣接。開放的な雰囲気でご茶の場となる。



右上 / リビング上部には黒光りする梁がわたされ、この家の風格を物語る。
 右下 / リビング・ダイニング 力強い梁をあらわしにし、天窓から差し込む光で明るい空間に、現代の生活に適合する工夫もなされている。床はカリン無垢フローリングを使い、蓄熱床構造も敷設。
 中下 / 寝室 壁は珪藻土仕上材、天井は民芸クロス貼りとし、落ち着いた雰囲気。床は桐フローリングに珪藻土塗り。
 左下 / キッチン ダイニングに隣接している独立した形のキッチン。ステンレス製のシステムキッチンは特注品。中央のアイランドにシンクや食器洗浄器を備える。



右上／広間の景見障子を上げて中庭を眺める。中庭の景色がきれいに切り取られて、広間に影を落とす。
 右下／中庭 玄関ホールから続く渡り廊下から窓越しに中庭を望む。
 左／障れリビング 右夫婦のリビング。奥に大きく取った窓から、思い出のつまった大きな木の木が絵のように眺められる。壁はオガファーザー壁紙の上、自然塗料塗り。



座敷 右に出書院、左に仏壇を備えた床の間。左側には座敷前室となる階段ホールがあり、その間に既存座敷に使われていた彫刻欄間を配した。半縁天井に、床柱は黒檜、床板は呂色塗塗り。

心得
廣内保建設 社長 廣内秀夫 <ul style="list-style-type: none"> ・素直な心と謙虚な姿勢 ・人からの褒められ事は、試され事 ・近事一つでその後の人生が変わる ・自分が幸せになるためには、まず目の前の人に喜んでもらうこと ・子どもにできる事は大人にもできる ・何のために生きているのか、幸せになるため

N邸建築の協力会社様	
瓦工事 廣野山瓦敷き所 板金工事 林板金工務所 給排水工事 ヤマキ工務所 電気工事 廣大電機 塗装工事 大西塗装 サッシ工事 廣野アルテ サッシ工事 上野アルミ工務所 大工工事 ケスマル大工 畳工事 職屋畳店 内装工事 山上インテリア 木土工事 ナイメン建設 金物工事 廣大高塗装工務	建材 吉澤銘木店 石材工事 徳光石工務 クレーン 純興クレーン 大保押入れ 第一工務所 ナカマ野島工務所 廣野カタコ造園土木 廣野いしばり 忠伸板金物 廣瀬板木工所 廣河谷金物

大西塗装
代表 大西元洋 今回の作品は、職人の家の中でもとりわけ歴史と伝統のあるお屋敷で、それゆえにたいへんな作業でありました。しかし、昔の特殊工法を取り入れ、建てた当時の色合い、風格を再現することができました。 (A3366 TEL: 0763-22-7573)

DATA
 感服の心を技術に変えてー
 施 工：有限会社 丹保建設 (代表 丹保彰三)
 古民家事業部・オールウェイズ (担当：社長 廣内秀夫)
 (金沢古民家リサイクルの会 会員)
 富山県南砺市久戸230 (〒939-1712)
 TEL.0763-52-5525
 FAX.0763-52-6191
 http://tanbokensetsu.com
 E-mail alwasy1230nk@yahoo.co.jp
 設 計：有限会社 金沢設計
 石川県金沢市泉1-5-74 (〒921-8041)
 TEL.076-280-8881
 FAX.076-280-8882
 http://www.h2.dion.ne.jp/~kana.a.a/
 E-mail kana.a.a@d6.dion.ne.jp

延床面積：570.01㎡ (172.46坪)
 1層 454.90㎡ (137.63坪)
 2層 115.11㎡ (34.83坪)
 構 造：木造軸組工法
 所 在 地：石川県金沢市 (N邸)
 撮 影／林安直



右／座敷 座敷から庭の緑を眺める。出書院は既存構造物の上、再利用したもの。
 左／蔵 北東側の若夫婦の居宅部分は、米蔵を再生したもの。ホールの奥に書斎と書斎。2階には子ども部屋を設けた。